

■ 公共交通の結節点として

東武伊勢崎線川俣駅に直結した強みを生かし、公共交通機関を利用しやすい環境を創出します。鉄道利用者の他、町内を走る2種類のオンデマンドバス「チョイソコ明和」「楽ラクシー」や広域公共路線バス「館林・明和・千代田線」を利用したアクセスが可能であり、明和町保健センターや医療機関の受診を目的としていただくことで、交通弱者のかたの外出機会創出、地域コミュニティの活性化、健康増進の一助に繋がることを期待しています。また、鉄道を利用して東京・埼玉方面から通勤するかたも多いため、川俣駅を玄関口として使われる町内外の企業から人間ドック等健診の受け皿としての期待も寄せられています。



川俣駅からペDESTリアンデッキで直結しています

■ 官民連携した健康増進の取り組み

医療関係施設が入る複合施設である強みを生かし、今までにない地域医療システムの確立を目指します。町が実施する健康診断、予防接種案内、健康相談・教室と医療機関が実施する予防接種、人間ドック、健康診断、特定健診等の連携を高め、保健指導や早期の治療に繋げていきます。また、介護予防、健康教室、乳幼児健診等の分野でも同様に連携して取り組んでまいります。



駅舎と接続するペDESTリアンデッキ

■ おわりに

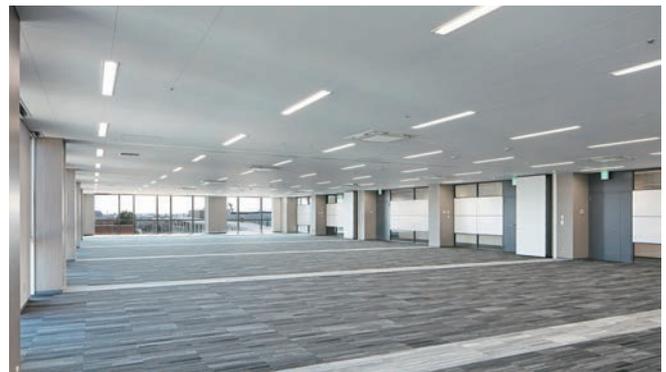
今後は、駅西口側の低未利用地を活用し、民間主導による宿泊・温浴施設の整備を計画しています。また、駅周辺は人口が集中する地域ですので、更なる避難所の確保も重要な課題となります。明和町では、まちの賑わいの創出を図り、安心して住み続けられるまちの実現のため継続して川俣駅周辺整備に取り組んでまいります。保健センターを始めとした明和メディカルセンタービルにご興味ありましたら是非一度明和町までお越しください。宜しくお願いいたします。



白と木を基調とした病院待合



A館2Fカフェは通勤通学帰りの方も立ち寄る憩いの場に



A館3F会議スペースは非常時の避難所として活用予定です